

ライダーズ・イン・ザ・スカイ 第97号

新潟県中央工業高校（旧三条工高）山岳部OB会発行 2021.9.20

1 OB会は今年も 弥彦山頂で 10月23日（土）に開催！

OB・現役親睦 弥彦山登山と山頂で総会

- 9:00 弥彦商工会駐車場集合・出発 表参道登山道より登ります
11:30 弥彦山頂大平園地の高頭仁兵衛寿像碑前に集合
(山頂御神廟ではありません。)
総会 記念撮影・昼食
12:00 解散 (悪天であれば早くなるかも…)



昨年のOB会の様子

弥彦商工会駐車場に集合・出発合図の後は自由登山
山頂大平園地で集合をして総会 集合写真を撮って解散

<補足> 9:00 弥彦商工会駐車場で合流OK

11:30 別ルートから登って合流もOK ロープウェイを使って合流もOK

自動車でスカイラインを走って合流もOK 家族連れ大歓迎！

申し込み：出席の有無を10月19日（火）まで、いずれかの方法で連絡してください。

- ①同封のハガキ ②ホームページのメールボックス ③OB会グループLINE

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中ですが、「新しい生活様式」を徹底しながらOB会総会弥彦山登山を開催いたします。

一人ひとりが感染対策をして弥彦山へ登りましょう！

OB会長 廣瀬守彦

- ・新潟県は9月現在、特別警報を発令中。県外との往来を控えるように呼びかけています。
- ・活動中の感染リスクの低減
手洗いや手指の消毒を徹底し、ウイルスを取り込んでしまう可能性を減らしましょう。
- ・体調不良の方の活動自粛
風邪症状がある方や体調がすぐれない方は参加を控えましょう。 感染拡大のときは中止します

2 役員は以下のとおりです

会長	廣瀬守彦 (H07)	事務局住所・返信受け取り、総会担当
事務局長	川村浩貴 (H19)	総会担当
次長	吉田光二 (S46)	ライダーズ作成・発送・会計担当
顧問	斎藤 勲 (S41)	ライダーズ担当

3 OB会会計報告 (2020年10月～2021年9月)

収入		支出		
費目	金額	費目	金額	摘要
前年度繰越金	490,939	通信費	44,964	送料・葉書他
入会金	500	運営費	6,453	消耗品・HP運営他
2020年総会残金	1,500	総会費	0	
預金利息	4	現役助成	0	
山の家から寄付	17,657	慶弔費	0	
収入合計	510,600	支出合計	51,417	
		収支残高	459,183円	次年度へ

繰越金の内訳：普通預金 459,183円

4 久住先生の山岳部報告 (OB会HP掲示板から転載)

5月13日投稿

コロナ禍かつ部員不在の長い1年がすぎました。

昨年度はほぼ活動ができない状況でしたが、今年度は1年生5名、2年生1名で元気に活動しております。

5月5日・6日は春の地区大会で粟ヶ岳に行ってきました。1年生は初めての山でたいへん疲れたようでしたが、快晴の中の登山は楽しかったようです。

ここからまた活気づいてくれることを祈って、日々の活動を大事にしたいと思っています。どうぞ今後とも応援よろしくお願いします。



粟ヶ岳

6月9日投稿 県総体に行ってきました

6/3~4に五頭山域にて行われた県総体に出場してきました。全員新入部員のチームでしたので、ひとつひとつ確認しながら準備をしましたが、最後はバタバタしてしまいました。

コースは菱ヶ岳登山口→菱ヶ岳→与平の頭→三ノ峰分岐→赤安山→五頭少年自然の家、の予定でしたが、登山行動の4日は大雨と強風に見舞われ、自然の家から三ノ峰ピストンに変更になりました。

入部したてと言うこともあり、まずは脱落せず帰ってくることを目標でしたが、なんとかその目標は果たすことができ、15校中12位という結果でした。(CLの話では、同じ班の長岡高校のペースに全くついて行けなかったそうです)

参加した4人は今回の大会を受けて、来年リベンジしたいと燃えていました。体力だけでなく、ロープやコンパスの実技、学科問題など、悔しいことが多かったようです。

これから少しずつ育てていきたいと思えます。応援よろしくお願いします。

8月20日投稿

夏休みもう終わりですが、生徒は夏休み中、集中して部活に取り組んでいました。基本的には階段ランニングと筋力トレーニングで汗を流し、テントや炊事などの実技に取り組むという流れが定着し、積極的に活動しています。

先日は、西日本を中心に大雨を降らせた天気図を作図しました。まだ風向に手間取り放送についていけないというのが正直なところですが、頑張っています。

夏山合宿は2泊3日で蓮華温泉→白馬大池→白馬岳の予定でしたが、大雨の影響から実施を断念！代わりに今日、角田山の灯台コースを登ってきました。

良い天気で登山道から見える佐渡は最高でしたが、気温が高く風もなかったので、汗が止まりません。熱中症に気を付け、木陰を見つけては水分を補給しながら登ってきました。

来月16日、17日は秋の大会で火打山に登る予定です。

今後とも応援よろしくお願いします。⇒秋の大会は感染症拡大のため中止になりました(涙)

5 山岳部報告

祝 久住先生が結婚されました。昨年入籍、披露宴は今年の9月23日です。

OB会から祝電を贈りました。

☆今年度の顧問 岡村孝先生 久住公彦先生 渡辺知秀先生。

☆現在の部員数 1年生2名 2年生1名 3年生0名 来年の県総体に人数が足りません！

6 宇佐美先生が定年退職されました (OB会HP掲示板から転載)

4月1日の吉田光二の投稿

元顧問の宇佐美先生が3月31日をもって定年退職されました。

翌、4月1日に宇佐美先生と吉田が弥彦山に登ってきました。

膝の故障に苦しむ宇佐美先生と、膝と腰が悪い吉田の初老・中老コンビは、山行の思い出話に花を咲かせながらゆっくりと足腰をかばいながら登っていたら、あっという間に山頂に着いてしまいました。とはいえ、駐車場からの所要時間は2時間20分でした。(大笑)

今年の弥彦山は、桜、キクザキイチゲ、ショウジョウバカマ、雪割草、カタクリなどが一斉に咲き誇るという、これまでに見たことのない見事な姿でした。

4月2日の宇佐美博康先生の投稿

一昨日、定年退職しました。そして、昨日、吉田先生から退職祝いの弥彦山登山と昼食にお付き合いいただきました。コロナの影響で退職の区切りになる催しも無く、煙のように退職していましたので、生涯忘れられない幸せな思い出になりました。在職中6つの高校を経験しましたが、やはり県央工業が私にとって最高の学校でした。転勤後も皆さんからたくさんのご厚情と、ご支援をいただき、ありがとうございました。今後も長いお付き合いをお願いします。



左から 宇佐美先生 吉田

7 あらためて感謝と近況の報告

元顧問 宇佐美博康

今年の3月末日を以て定年退職しました。在任中は多くの皆様方に多大な叱咤激励、御支援に支えられながら何とか晴れの日を迎えることができました。とりわけ、県央工業の山岳部関係の皆様方にはどんなに、感謝、また謝罪しても尽くす事はできません。さらに、巻機山の家の譲渡の件も悔いること数多です。私は一体、何か県央工業に貢献したことなどあるのだろうか。恥ずかしさが募ります。穀潰しの言葉が頭をよぎります。このような私をOB会の一員として迎えて下さっていることに、とにかく感謝いたします。どうか今後ともよろしく願いいたします。

今現在は働きもせず、毎日が「土曜日」^{*}の如く自宅に籠もっていますが、定時に自転車に乗って周辺をうろろろするのが日課です。現役時代は地理が専門でしたので、周辺の用排水路の連結を探って喜んでいましたが、最近ではネタ切りに悩んでいます。コロナが収束すれば、遠出して広範囲に行ってみたいと思います。肝腎の登山は休止状態です。ヒザの不調で、暫く控えていたら登山で使う筋肉や関節が退化していることに気付く愕然としています。いくら自転車を漕いでも関係ないようです。早くコロナが収束し、皆様方から強制的な山のお誘いをきっかけとして山に復帰できればと願っています。

県央工業山岳部の益々のご活躍と、OB会のご発展をお祈りし、ご挨拶とします。

※「日曜日」だと翌日に仕事がありそうなので「土曜日」が良いのだ！

宇佐美先生は、平成8年から平成18年まで本校に勤務され、インターハイでは以下のような実績をあげられました。

平成11年	岩手大会	視察員
平成12年	岐阜大会	監督
平成13年	熊本大会	監督
平成14年	茨城大会	監督(銅)
平成15年	長崎大会	監督
平成16年	島根大会	監督
平成17年	千葉大会	監督

8 北海道遠征2021 (OB会HP掲示板から転載)

S43年卒 渡辺五郎

大雪御鉢巡り 北鎮岳 7月20日(晴れ)

仙台港を18日の午後7時40分発のフェリーで19日に苫小牧港に着き層雲峡に向かい駐車場で車中泊。

大雪山の御鉢巡りはロングコースなので6時始発のロープウェイの先頭に並び乗車、さらに黒岳リフトに乗り七合目、海拔1510Mから歩き始めるがジグザグの急登。1時間半かかり黒岳山頂着。

森林限界を超えたので涼しい風に迎えられるがのんびりと出来ない。これから歩く御鉢平を囲む山々、北鎮岳、中岳、間宮岳、北海岳等が長い稜線で結ばれているのだ。

黒岳石室付近は開花し始めたチングルマ、エゾコザクラやエゾツツジが咲き乱れているが暫くすると砂礫や岩場のため植物が少なくなるがあちこちにイワブクロが咲いている。雪渓を登り北海道で旭岳に次ぐ第2の高峰、北鎮岳に着く。

この辺から戻る人が多いようだが、今回は御鉢巡りのためさらに進む。あたりの山々から夏雲が湧き出てハイな気持ちになって来る。

中岳、間宮岳を過ぎると明日登る旭岳大きく近づいてくる。

さらに北海岳に続くがこの稜線歩きが緩いアップダウンで実にたおやかなのだ！

北海岳からは下りになり残雪豊富な御針平の雪解け水が渡渉する赤石川に流れている。降雨があると渡渉が困難になりそう。

再び黒岳石室に着き黒岳に登り返し黒岳山頂から今日歩いた山々を大満足で見回す。

山頂でのんびりと満足してはられない、黒岳リフトの最終が5時半なのだ。リフトの上駅に4時50分に到着する。歩き始めたのが6時50分だったので丁度10時間の行動時間となった。



御鉢平

北鎮岳

チシマクモマグサ

大雪 旭岳 7月21日（晴れ）

昨日の御鉢巡りの後に入浴して移動。美瑛の道の駅で車中泊。旭岳温泉の大雪山旭岳ロープウェイ、6時半の始発に乗る。

ロープウェイ山頂のすがたみは海拔1610M。旭岳山頂まで約700Mの標高差である。この旭岳は数年前の5月にスキーで登山頂から滑降したことがあり、昨日の御鉢巡りとルートが重なり表大雪の北部を縦横に歩けるので2日目のルートにした。

いつも歩く福島の吾妻の山は海拔1600M辺りでは大きなオオシラビソやダケカンバの林が鬱蒼としているが、北海道の山は1600Mとなるとそれらの木々は無く森林限界を超える山頂までは目立った植物は生えていない。今日のルートは左に噴煙の上がる地獄谷。植物は育つことはできないのだ。

2時間半かからずに山頂着、数年前に登ったトムラウシが遠くに見える。今日もロングコース。山頂から間宮岳に向かうが下りが砂礫でほとんどステップが無いので滑りやすい。持参のストックを使い慎重に降り広い雪の斜面を下り、登り返すと昨日通過した間宮岳に着く。

間宮岳から昨日と逆回りで同じ稜線の中岳分岐まで歩き、中岳温泉に下る。中岳温泉とは言うが沢の一部に熱い源泉が湧き出てうまい具合に沢水で薄められ良い温度なのだ！早速靴を脱ぎ足湯、途中に知り合ったベトナムの若いナイスカップルに写真を撮ってもらう。お二人にも足湯を勧め写真を撮ってやると肩を寄せ合いVサイン！

そして沢を降り、広い雪田状態の中を歩くと素晴らしい景観に出会う。チングルマの大群落。360度見回してもチングルマなのだ！群落にはエゾコザクラ、エゾツガザクラやアオノツガザクラが混ざりいつまでも見飽きない。コバイケイソウは漸く花のつぼみが小さく始めている。

幾つかこのような群落が続くが、すがたみまではアップダウン。歩き続けてゴールのすがたみの鏡池で水面に映る旭岳の姿を写真に収める。狙った通りのこの時季、沢山の花に出会える開花期に北海道の山に来てラッキーだった。

今日もたくさん歩いた、9時間の行動時間となる。



中岳温泉

お花畑

旭岳と鏡池

十勝岳 7月22日（晴れ）

昨夜も道の泊り、目覚めと共に移動して十勝岳登山口の望岳台に向かう。

十勝岳は大雪山系と呼ばれるが風景が全く異なりドライなトレール。噴煙の上がる活火山なので植物は目立って少ない。

十勝はかつて5月に山スキーで2回滑ったがその時は雪の斜面を自由に登りやすい所を登り、良さそうな斜面を滑り降りた。雪のない夏はトレールを歩くしかなく、ただ黙々と歩く。

連日好天、4時45分から行動。3日目の山歩きは厳しい。4時間かかり山頂着。どっかりと腰を下ろし1時間あまり休む。北鎮岳、旭岳の山頂でもアマチュア無線を開局。長時間できなかったがここではたっぴりと楽しむことが出来た。

下山の頃、風向きが変わり火山性ガスがあたりに漂い始め少しむせる。登り返しがなくただ下るだけであったがやや疲れ気味でゆっくりと歩きゴールの望岳台に暑い時間帯の1時過ぎに着く。

近くの吹上温泉、白銀荘、ここは冬の山スキーで何度も宿泊した自炊の温泉施設。ここで入浴後移動する。



噴煙

展望台から

山は生きている

9 平成 11 年卒・佐藤大地さんの最近の主な山行

6 月

西蒲三山縦走ピストン。
大源太山～七ッ小屋山の周回。
松平山～五頭山の周回。
栗ヶ岳。浅草岳。守門岳。…etc

7 月

飯豊連峰、足ノ松尾根～本山をピストン。…etc

8 月

飯豊山荘～梶川尾根～梅花皮小屋～丸森尾根で下山。
鳥海山。
十字峡～中ノ岳～丹後山の周回。
二王子岳。
馬場島～早月尾根～剣岳ピストン。
武尊山。…etc

9 月に蓮華温泉～小蓮華山～白馬岳に行く予定です。

今春、栗ヶ岳下田登山口の山開きを報道する新聞記事の写真に佐藤OBによく似た人物が写りこんでいるのを発見。本人に尋ねたら自分だとのことでした。最近、よく山に出かけているとのことだったのでその足跡を聞き出したのが本稿です。

稼いでいますね～!!

(吉田)

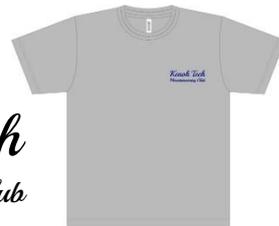
10 山岳部Tシャツをつくります Kenoh Tech

シルバーグレーの地に紺の文字入れ

2,000 円 (込) です。

感染症禍で山に行けない山岳部に激励のオリジナルTシャツを作ってプレゼントします。希望するOBに実費で頒布します。出欠ハガキかLINEでサイズを付けて申し込んでください。

Mountaineering Club



11 OB会ホームページを随時更新しています

「OB会のあゆみ」を歴史がわかるようにリニューアルしました。(6頁に添付)
「会員のひろば」にアクセスするためのID、パスワードは下記のとおりです。

部外秘でお願いします。ID: / パスワード:

掲示板には部の山行報告やOBの登山報告などが投稿されています。



12 OB会グループLINEもあります

現在 38 名が登録して随時書き込んでいます。

右の吉田のQRコードで登録してください。グループLINEに誘導します。

新潟県央工業高校（旧・三条工業高校）山岳部とOB会のあゆみ

年次	西暦	邦歴	インターハイ・国体等	その他の出来事	OB会総会
1	1963	S 38		三条工業高校山岳部創設	
2	1964	S 39			新潟地震
3	1965	S 40	大分大会（選手：金子徳蔵） 岐阜国体（選手：斎藤勲 監督：高橋小一郎）		
4	1966	S 41			三条工業高校山岳部OB会創設
5	1967	S 42			マチガ沢交歓登山
6	1968	S 43		三実・工業・商業合同OB会（守門・木守沢） 合同OB会設立	
7	1969	S 44	長崎国体（選手：長谷川一良 監督：金子達）		
8	1970	S 45		合同OB会第2回総会 OB山行 幽ノ沢V字状岩壁登攀（3名）	OB・現役合同山行（蓬峠）
9	1971	S 46		OB山行 一ノ倉沢南稜登攀 （高橋先生、OB3名）	巻機山の家で総会開始
10	1972	S 47	鹿児島国体（選手：斎藤誠）	「三工山岳部OB会だより」発刊 通信の名前を「ライダース・イン・ザ・スカイ」とする	巻機山の家
11	1973	S 48		ホテル弥彦で交歓会	巻機山の家
12	1974	S 49			巻機山の家
13	1975	S 50	OB長谷川晴一：三重国体出場		巻機山の家
14	1976	S 51			巻機山の家
15	1977	S 52			巻機山の家
16	1978	S 53			山の家雲天
17	1979	S 54			山の家雲天
18	1980	S 55		15周年記念ヒマラヤトレッキング（OB4名）	山の家雲天
19	1981	S 56		「OB会15周年記念誌」発刊 東京地区OB交歓会	山の家雲天
20	1982	S 57			巻機山の家
21	1983	S 58			巻機山の家
22	1984	S 59			山の家雲天
23	1985	S 60	OB榎敏彦 阿部孝幸：鳥取国体出場		巻機山の家
24	1986	S 61	山口大会（縦走5位） OB阿部孝幸：山梨国体出場		巻機山の家
25	1987	S 62	北海道大会（団体優秀校）金メダル		弥彦・新風楼
26	1988	S 63	大阪大会（縦走順位なし）		山の家雲天
27	1989	H元	北信越大会（新潟）優秀校		山の家雲天
28	1990	H 2	宮城大会（縦走7位）		巻機山の家
29	1991	H 3	静岡大会（団体14位）		山の家雲天
30	1992	H 4	北信越大会（石川）優秀校		山の家雲天
31	1993	H 5	栃木大会（団体16位）		大崎山グリーンズ・ツセンター
32	1994	H 6	富山大会（団体9位）		大崎山グリーンズ・ツセンター
33	1995	H 7	鳥取大会（団体11位）	阪神淡路大震災	大崎山グリーンズ・ツセンター
34	1996	H 8	山梨大会（団体6位）入賞	30周年記念でクライミングボードを購入して全天候練習場に設置	学校全天候練習場
35	1997	H 9	京都大会（団体2位）銀メダル		学校全天候練習場
36	1998	H10	高知大会（団体6位）入賞		学校全天候練習場
37	1999	H11	岩手大会（団体8位）		日程取れずに休会
38	2000	H12	岐阜大会（団体12位）		菅名岳おちあい山荘
39	2001	H13	熊本大会（団体17位）		巻機山の家
40	2002	H14	茨木大会（団体3位）銅メダル	メール版ライダース・イン・ザ・スカイの発信を始める	大崎山グリーンズ・ツセンター
41	2003	H15	長崎大会（団体25位）	金沢地区OB交歓会	大崎山グリーンズ・ツセンター
42	2004	H16	島根大会（団体21位）	校名変更・OB会名も変更する 7.13新潟福島豪雨で学校・部室が水没	大崎山グリーンズ・ツセンター
43	2005	H17	千葉大会（団体14位）	中越大震災	巻機山の家
44	2006	H18	奈良大会（団体14位）	金沢地区OB交歓会	大崎山グリーンズ・ツセンター
45	2007	H19		吉田先生：インターハイ20回出場表彰 山岳部員減少し一時1名になる	大崎山グリーンズ・ツセンター
46	2008	H20	北信越大会（福井）順位なし	野球部が甲子園出場	休会（吉田病休のため）
47	2009	H21	兵庫大会（団体19位）	「OB会40周年記念誌」発刊	休会（吉田病休のため）
48	2010	H22	鹿児島大会（縦走5位）	OB会HP開設 事務局役員改選	下田ウォーターレिकाわせみ
49	2011	H23	青森大会（団体17位）	吉田先生：環境省より表彰	下田ウォーターレिकाわせみ
50	2012	H24	新潟大会（優勝）金メダル	東日本大震災	下田ウォーターレिकाわせみ
51	2013	H25	大分大会（団体20位）	旗手3名、役員9名、支援隊員14名が大会参加 10/27 山岳部創設50周年記念一ノ倉沢ハイク 8/17 OB会HPアクセス10,000超	下田ウォーターレिकाわせみ
52	2014	H26	神奈川大会（団体34位）		下田ウォーターレिकाわせみ
53	2015	H27	北信越大会（長野）優秀校	トレーニング場にクライミングボード設置 7/21 高橋小一郎先生逝去 10/14 高橋小一郎先生追悼集をHPに掲載	下田ウォーターレिकाわせみ
54	2016	H28	岡山大会（団体36位）	7/23-24 高橋先生追悼山行（立山）	下田ウォーターレिकाわせみ
55	2017	H29	北信越大会（石川）優秀校	3/27 大田原高校雪崩事故8人死亡 2/2 OB会HPアクセス20,000超	学校合宿所・弥彦山
56	2018	H30			学校合宿所・弥彦山
57	2019	R元			学校トレーニング場・弥彦山
58	2020	R 2	新型コロナウイルス禍で大会中止	山の家雲天ツアー実施 HPの「会員のひろば」投稿がNo.1000達成 巻機山の家が解散・譲渡される	弥彦山大平園地
59	2021	R 3	新型コロナウイルス禍で秋季大会中止	東京オリンピック・パラリンピック	弥彦山大平園地
60	2022				